

## ＜日商簿記 1 級商業簿記ミニテスト 2＞貸倒引当金

### ＜問題 1＞

当社の売掛金はすべて一般債権であり、3年間の貸倒実績率に基づき貸倒引当金を設定する。下記の資料より貸倒実績率を求めて×11年度の貸倒引当金を計算しなさい。

	×8年度	×9年度	×10年度	×11年度
期末売掛金残高	10,000	15,000	13,000	18,000
貸倒高	400	200円	450	403

11年度の貸倒引当金残高	486円
--------------	------

＜問題 2＞当社はCMCに対して、年利 3%、利払い日 3月末、返済日は×13年 3月 31日の条件で 1,000,000円を貸し付けていた。

当期末（×11年 3月 31日）年にCMC社から「当期は約定利息を支払うが、来期から 2%に引き下げてほしい」との要請があった。キャッシュフロー見積法により貸倒引当金を計算し、×11年 3月 31日と×12年 3月 31日の貸倒引当金に関する仕訳を行いなさい。

なお、科目は下記の科目を使用することとし、端数処理は計算の最終段階で円未満を四捨五入すること。

貸倒引当金      貸倒引当金繰入額      受取利息

	科目	金額	科目	金額
×11年 3月31日	貸倒引当金繰入額	19,135	貸倒引当金	19,135
×12年 3月31日	貸倒引当金	9,426	受取利息	9,426

### ＜問題 3＞

当社はマーチ社に対して 1,000,000円の売掛金の残がある。しかし当期（決算日×11年 3月 31日）にマーチ社が経営破たんしたために、当社は当該売掛金を破産更生債権等に分類するとともに、財務内容評価法により債権全額を貸倒引当金として設定することにした。なお、マーチ社とは売買契約の締結時に保証金 300,000円を預かっている。

①売掛金の振替仕訳と②貸倒引当金設定の仕訳を行いなさい。

	科目	金額	科目	金額
①	破産更生債権等	1,000,000	売掛金	1,000,000
②	貸倒引当金繰入額	700,000	貸倒引当金	700,000

貸倒引当金繰入額以外の勘定科目は問題文から選択すること